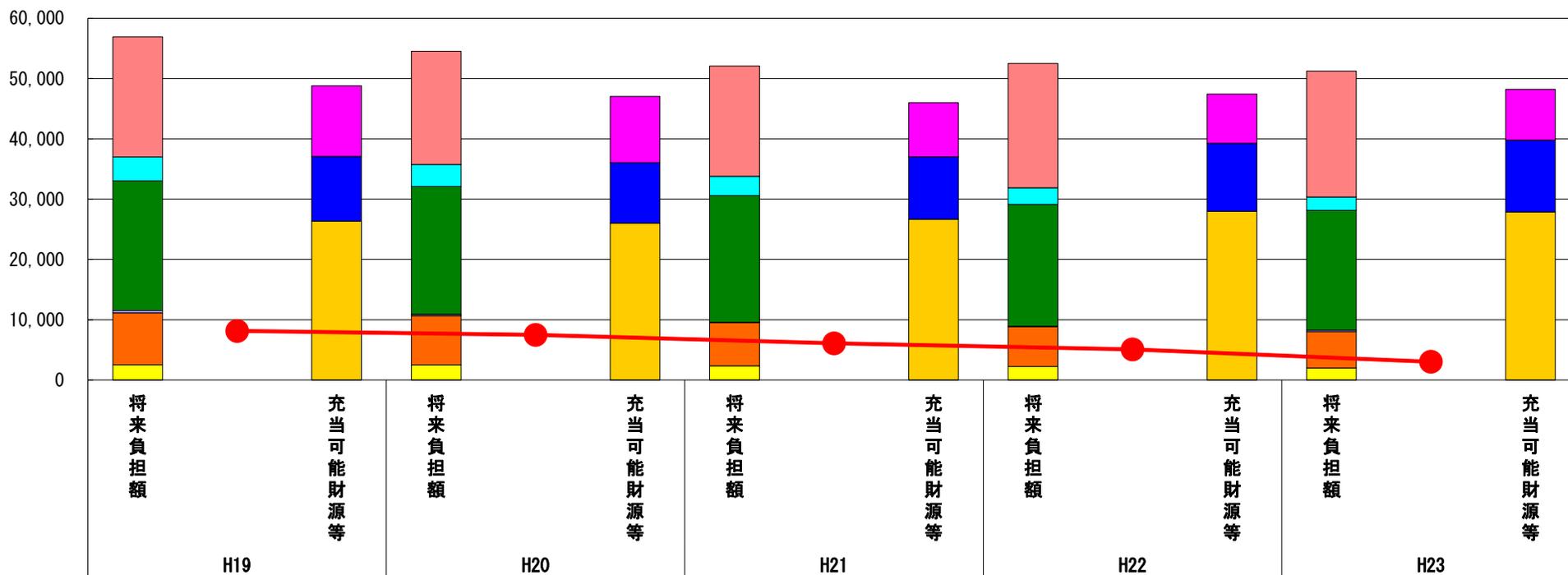


(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成23年度

愛知県東海市

(百万円)



分子の構造		年度	H19	H20	H21	H22	H23
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		19,921	18,791	18,280	20,645	20,883
	債務負担行為に基づく支出予定額		3,965	3,648	3,203	2,751	2,221
	公営企業債等繰入見込額		21,496	21,183	21,011	20,190	19,861
	組合等負担等見込額		419	227	58	70	220
	退職手当負担見込額		8,594	8,173	7,156	6,608	6,052
	設立法人等の負債額等負担見込額		2,526	2,501	2,362	2,246	2,005
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		11,709	10,982	8,956	8,160	8,407
	充当可能特定歳入		10,709	10,046	10,367	11,269	11,898
	基準財政需要額算入見込額		26,370	26,010	26,666	28,000	27,896
(A) - (B)	将来負担比率の分子		8,132	7,486	6,081	5,081	3,039

分析欄

将来負担比率の分子については、一般会計等に係る地方債の現在高が前年比約2.3億円、債務負担行為に基づく支出予定額が前年度比約5.3億円減少、公営企業債等繰入見込額が前年比約3.3億円、退職手当負担見込額が前年比約5.6億円減少するなど、元利償還金等(A)全体として約12.7億円の減少となった。また、充当可能財源等(B)の値は、充当可能特定収入が前年比約6.3億円の増加となるなど、充当可能財源等(B)全体としては、約7.7億円の増加となった。元利償還金等(A)に比べ、充当可能財源等(B)の増加が著しいため、平成23年度の将来負担比率の分子は、前年度に比べ、約20億円減少した。今後は事業内容の精査、公営企業の経営健全化等を進め、将来負担の軽減に努める。

※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。